2017年1月22日（月）６校時

第5学年3組社会科学習指導案

１　小単元名　工業生産と工業地域

２　本時の学習指導

（1）目標

分布図や統計資料を活用して、我が国の工業の種類別の生産額や工業地帯・工業地域の分布・立地について読み取っている（観察・資料活用の技能）

（2）展開（「評価と支援の工夫」の●は評価を示す）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 評価と支援の工夫 | 資料・準備 | 時間 |
| 1この単元で学習したことをふりかえる  2学習課題の提示  3工業種類別の工業生産額の割合の変化についてグラフから読み取る  発問①「4つの年のグラフを比べて、種類がどのように変化していったのか」  発問②「工業生産額の合計はどのように変化しているか、最も金額の変化が大きいのはどこの期間か。」  4工業生産の分布とグラフから読み取る  発問③「工業はどのようなところに多く分布しているか、またその理由として考えられるものは何か？」  5今日の学習を振り返り、特色を見つける。黒板の日本の工業の特色はに続けて文章をノートに完成させる。  振り返りについて発表する。 | ・工業とは？  ・工業の分類  →機械工業・金属工業・化学工業・食料品工業・せんい工業  ・工業生産額  工業種類の移り変わり・せんい工業から機械工業へ  生産額の変化・生産額は増え続けている  ・1960年から1985年の間に生産額は大きく増加→高度経済成長  ・工業地帯  ・工業地域  海（太平洋側）沿いに多く分布している。  最大の工業地帯は中京工業地帯である | ・工業の分類について身近な事例を結びつける  ・5年生の学習では日本の工業全体を扱うことを意識できるようにする。  学習課題　2つの資料から日本の工業の特色を調べよう  ・現在の機械工業について、日本の機械工業の会社を児童が挙げることで身近に感じさせる  ・戦前→戦後直後→オリンピックなど時代の流れがわかるようにする  地理の学習が歴史の学習などとリンクすることに気づかせたい  地図帳で太平洋側に多いことを確認する  中京工業地帯を取り上げることと立地について着目することで次時以降での学習につなげる  ●分布図や統計資料を活用して、我が国の工業の種類別の生産額や工業地帯・工業地域の分布・立地について読み取っている（観察・資料活用の技能）  足りないことがあればメモをするように指示をする | 写真・イラスト  ・ゲーム機・ねじ・車・薬・パン・洋服・  写真・イラスト  ・ゲーム機・車・蚕  ・東京オリンピック・アメリカの生糸トラベル  P61  P73　地図帳p68 | 10  15  13  7 |

在籍児童数　35名

板書案

|  |
| --- |
| 1/22  2つの資料から日本の工業の特色を調べよう  ①工業種類別の工業生産額のわりあいの変化のグラフ　　②日本の工業生産の分布  せんい工業から機械工業へ変化した　　　　　　　　　　分布→海（太平洋側）に多い  生産額は増え続けている　　　　　　　　　　　　　　　中京工業地帯が最大  特に1960年以降増加→高度経済成長　　　　　　　　　　まとめ  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本の工業は |